

4月定例記者会見録概要

2021（令和3）年4月1日（木）午後3時～
市役所本庁4階 庁議室

1. 市長からの発表

今日から、新しい年度がスタートしました。多くの人にとって節目の時期です。3月28日執行の市議会議員選挙で、22人の市議会議員が選出されたところです。これから車の両輪となって市政を進めていきたいと思っています。

また、本日午前中に新規採用職員や新部長、次長への辞令交付を行いました。今回、DXに対応すべくデジタル自治推進局を設置するなど組織の一部を変更しています。「こども、暮らし、にぎわい。」を大きな柱とした「コロナの先の伊賀づくり」について着実に取り組み、諸課題を解決していきたいと考えています。

さて、昨年は実施寸前で延期となった東京2020オリンピック聖火リレーですが、今年は、感染対策を万全に行ったうえで実施されることになりました。既に福島県をスタートして、8日には伊賀市を通過することとなっています。コースは伊賀上野城を午前9時30分にスタートし、伊賀市役所まで5.1キロの道のりで、25人のランナーがリレーして走ります。その様子は、NHKホームページでインターネットライブ中継が放送されますのでご覧いただけたらと思います。

また、先日の臨時記者会見でお伝えしました県議会議員の選挙区の定数についてです。

今般、県議会議長宛てに伊賀市の定数変更について説明を求めたところですが、県議会からは的確な説明はございませんでした。

現在、パブリックコメントが4月8日まで行われておりますので、市民の皆さんには是非、沢山の意見を提出いただければと思います。

(1) コロナ禍における伊賀市経済対策を実施します

伊賀市では、コロナ禍で、売り上げ減少などの影響を受けている事業者への支援や、飲食業等に携わる事業者が新しい生活様式に沿った店舗を改修するための支援などを国の地方創生臨時交付金を活用し5つの経済対策事業を実施します。

まず、「伊賀市事業継続応援給付金事業（第2弾）」ですが、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、売上高が減少している事業者に対し給付金を支給します。今回は、令和2年度中に同じ応援給付金を受給された方も、要件に当てはまれば対象となります。

また、令和2年度に国が支給した「持続化給付金」を受給された方も同様に対象とします。支給額は20万円が上限で、申請期限は10月29日までとなります。具体的な要件については、資料をご確認ください。事業者の皆さんには、この厳しい経済状況を何とか乗り越えていただきたいと考えておりますので、対象となる方は、ぜひ申請をしていただきたいと思います。

次に、「『伊賀市プレミアム付食事券 忍法元気回復の巻～二之巻～』の発行」についてです。

こちらは、飲食店を支援するためのもので、5,000円分のプレミアム付食事券を3,000円で発行するものです。この食事券は1枚500円の金券として使用でき、地元

飲食店専用券6枚と、地元飲食店、チェーン店、フランチャイズ店でも使える共通券4枚を合わせた10枚綴となっています。使用期間は4月26日から8月31日までとしており、往復はがきで4月16日までにご応募いただき、応募多数の場合は抽選となります。短期集中的に利用いただくことで飲食業の立て直しをめざしています。

なお、広報いがと同時に配布させていただいたチラシには、対象者は、「伊賀市内外のどなたでも購入できます。」と記載していますが、新型コロナウイルス感染症の第4波により、まん延防止等重点措置区域の設定がなされようとしている状況下において、往復はがきによる応募については、三重県内、いこか連携地域、定住自立圏域内の方に限定とさせていただきます。

次に、「伊賀市店舗改装促進事業に伴う支援制度の新設」についてです。皆さんが、安心して店舗を利用できるよう、新型コロナウイルス感染症の「新しい生活様式」に対応するために実施する店舗の改装工事等の費用の一部を補助する支援制度で、今年度から新しく設けたものです。対象となるのは、市内で、宿泊業・飲食サービス業・生活関連サービス業・娯楽業を営む来店型の店舗で、マスクを外さないとサービスを受けることができないと想定される店舗になります。これらの事業者が、新型コロナウイルス感染予防等を目的とした「新しい生活様式」に対応するための改装工事費の5分の4を、上限30万円として支援します。

次に、「新型コロナウイルス『感染防止対策実施店ステッカー』の発行」についてです。これは、先ほどの店舗改装への支援とも関係していますが、しっかりと新型コロナウイルス感染症の予防対策を取っていただいている店舗にステッカーを貼っていただくことで、皆さんが安心して利用できるお店であることをお知らせするのを目的としています。ステッカーは現在作成中ですが、直径15cmの円形で図柄は2種類を予定しており、交付は5月上旬になる予定です。申込受付期間は、本日から来年2月28日までです。

なお、申し込んでいただいた後、各店舗のコロナ感染症対策を確認したうえで、ステッカーを交付いたします。

また、交付した店舗は、感染防止対策実施店として、市ホームページにも店舗名を掲載します。事業者の皆さんも、利用者への安心の提供と感染防止のため、是非この取組にご協力ください。

次に、「忍者市GO TO STAYキャンペーンの実施」についてです。新型コロナウイルス感染症拡大により、国内外からの観光客が激減し、伊賀市内観光事業者が厳しい環境に直面している現状を踏まえ、伊賀市内における観光需要の喚起及び消費喚起を図るため、「忍者市GO TO STAYキャンペーン」を4月1日より実施いたします。これは、伊賀市内の宿泊施設を利用、又は宿泊施設と観光施設を併せて利用された際の支払額が合計で1万円以上の領収書及び入場券等を添付のうえ応募いただいた方、先着1,000名に伊賀市内飲食店で利用できる伊賀市プレミアム付食事券5千円分をプレゼントするものです。これをインセンティブとして、多くの方に伊賀市内にお越しいただきたいと存じます。

ただし、対象期間4月1日から5月31日中に、緊急事態宣言が発出又はまん延防止等重点措置が適用されている地域からの宿泊者は対象外とさせていただきます。

さらに、現時点での情報によりますと、4月5日から1ヶ月程度、一部の地域において、まん延防止等重点措置が適用される見込みでありますので、これらの地域からの宿泊者につきましては、市民の皆さんの安心・安全を考慮し、4月1日より適用除外とな

るまで対象から外させていただきたいと考えています。

まずは、三重県内、定住自立圏域内など生活圏を共にする皆さんに市内でご宿泊いただき、ご応募いただければと思います。

なお、市民の皆さんも応募いただけますので、この際に、改めて市内の宿泊施設や観光施設をご利用いただき、地元旅を楽しんでいただければと思います。

(2)「伊賀市の未来を創造する図書館ワークショップ」を開催します

伊賀市では、中心市街地のにぎわい創出に向け、上野丸之内にある成瀬平馬家跡地に忍者体験施設の建設を予定しており、当該施設を含む上野公園から城下町エリア（忍者体験施設）までを「にぎわい忍者回廊」と位置づけ、公民連携手法を用いた施設整備を進めるべく、市指定有形文化財旧上野市庁舎を改修し、伊賀市上野図書館の機能を移転し整備することを計画しています。

そこで、新しい図書館が「学び、創造、憩いの広場」となる交流型図書館を目指し、図書館の機能や空間、サービス等について、市民の皆さんの意見を聴き、一緒に考え、創っていくため、4月10日から図書館ワークショップを3回開催します。テーマは、それぞれ「そもそも図書館って、どんな場所?」「まちづくりに活かせる図書館を考えてみよう!」「伊賀市の未来に創造しよう!新しい図書館」です。市内在住・在勤の方や在学の児童・生徒及び、近隣の方にもご参加いただけます。新しい図書館を市民の皆さんと創っていくためにも多くの方のご参加をお待ちしております。

(3) 二次救急医療に係る病院群輪番体制を一部変更します

伊賀地域の休日・夜間における二次救急医療は、上野総合市民病院、岡波総合病院、名張市立病院の3基幹病院の連携による当番体制となっておりますが、市民ニーズである二次救急医療の市内完結に向け取り組んでいるところです。現在、日曜日は、岡波総合病院と名張市立病院が隔週で当番いただいておりますが、2月の「令和3年第1回伊賀市議会定例会施政及び予算編成方針」でも述べましたとおり、岡波総合病院による受入体制が整ったことから、5月から全ての日曜日についても、対応いただけることになりました。具体的には、これまで名張市立病院が当番となっている第1、3、5日曜日を、岡波総合病院と名張市立病院の2病院での当番体制となります。

このことにより、伊賀地域全体の救急医療体制が充実し地域住民の安心が高まります。

また、私たちが目指している休日・夜間の二次救急医療の市内完結においても、その割合が約7割に達すると見込んでいます。

私からの発表は以上ですが、コロナ禍2年目の春を迎えました。国の緊急事態宣言は解除されましたが、変異ウイルスによる感染増加やリバウンドの傾向が鮮明となっており、流行の第4波が心配されるところです。まだまだ先を見通すことのできない状況です。市民の皆さんにはこれまでと同様に感染予防対策の徹底をお願いします。

主な質疑応答の概要

【コロナ禍における伊賀市経済対策を実施します（感染防止対策実施店ステッカー）について】

記者：ステッカー発行の基準はありますか。それとも申請すればそのままステッカーは貰えます

か。

商工労働課：ステッカーの発行基準は、店舗改装補助金の対象者と、既に自己資金や県の補助金を活用して改装した方が対象者となり、チェックシート（伊賀市新型コロナウイルス感染防止対策実施書）を申請者から提出していただきます。それに基づいて書類審査を行い、各店舗の現地調査の上で発行を決めさせていただきます。

【「伊賀市の未来を創造する図書館ワークショップ」を開催しますについて】

記者：ワークショップの進行はどなたがされるのですか。

上野図書館：委託業者と図書館職員で進行します。専門的な知識のある方、ボランティアで図書館に関わっている方にも出席していただく予定です。

2. 4月の主な行事予定

(1) 企画展示「伊賀の地誌・名所記」の開催

会 期 4月1日（木）～5月30日（日）
場 所 伊賀市上野図書館 2階 企画展示コーナー
内 容 図書館が所蔵する地誌、名所記を紹介
担 当 伊賀市上野図書館（電話 0595-21-6868）

(2) 人権啓発パネル展の開催

日 時 会場により異なります（詳細は別紙をご覧ください）
場 所 本庁・市民館等
内 容 「高齢者の人権」、「障がい者の人権」、「身元調査と部落差別」
担 当 人権生活環境部 人権政策課（電話 0595-26-9683）

(3) 伊賀市本庁舎アート情報（4月展示）について

日 時 4月1日（木）～4月28日（水）※華道は4/30まで
午前8時30分～午後5時15分（市役所の開庁時間に準ずる）
場 所 伊賀市本庁舎（4階）市民ミニギャラリー
（1階）玄関横
内 容 （4階） 絵画9点（岡本 恵美子さん）
（1階） 榊 莫山作「花アルトキハ花二酔ヒ」
華 道：伊賀華道協会
担 当 企画振興部 文化交流課（電話 0595-22-9621）

(4) 子育て相談広場「にんにんパーク」事業の開催

日 時 4月11日（日）・5月9日（日）午前10時～午前11時30分
場 所 上野南公園「にんにんパーク」内（伊賀市ゆめが丘七丁目13番地）
内 容 4月11日（日）公園の春を探そうの巻
5月 9日（日）忍者になりきりの術
担 当 健康福祉部 こども未来課（電話 0595-22-9665）

主な質疑応答の概要

【子育て相談広場「にんにんパーク」事業の開催について】

記者：11日と9日は雨でも開催される予定でしょうか。

こども未来課：雨天の際は、外遊びである公園の春を探そうの巻はできなくなるため、イベント内容を変更して行います。

3. その他

【ワクチン接種について】

記者：ワクチン接種の供給はどうなっていますか。

ワクチン接種推進課：ワクチンの供給の予定がなかなか定まっていません。当初は、3月中に高齢者にクーポン券をお配りする計画でしたが、なかなかワクチンが入ってこないため、医療従事者にも、3分の1しか接種できていない状況です。4月に入り、医療従事者分と高齢者分と少しずつ（ワクチンが）入っては来ていますが、高齢者の接種を始められるのは、5月連休明けぐらいになる状況です。

5月の最初には高齢者が接種できる医療機関名を公表して予約方法等を通知させていただけたらと考えております。

記者：高齢者が始められるのは、現在のところはゴールデンウィーク明けからという感じですか。

ワクチン接種推進課：ゴールデンウィーク明けから、予約を取る予定です。高齢者の医療機関での接種は、5月後半ぐらいになってくると思います。

記者：クーポン券・接種券の発送はいつですか。

ワクチン接種推進課：発送は4月中に発送したいと思っております。

記者：医療従事者は、全体で何人ですか。

ワクチン接種推進課：1,800人ぐらいだったと思います。

記者：1,800人のうち1,200人ぐらいが受けてない。

ワクチン接種推進課：はい。まだ受けてない状況です。

（質疑応答終了）